

2025 年度 既卒生（2024 年度卒業生）アンケート報告書

川崎医療福祉大学

FD・SD 委員会

本学の卒業生が社会に出て、どのような就業状況にあるかを把握すると同時に、本学における学修を振り返り、それをどのように評価しているかを確認するために、卒業後 6 ヶ月経過後にアンケート調査を行っている。この調査は、2006 年度（平成 18 年度）より始まり、2018 年度（平成 30 年度）までは 3 年に一度の実施であったが（この間に 5 回実施）、2020 年度（令和 2 年度）からは、1. 実施方法の通り毎年実施している。

1. 実施方法

1-1 実施対象と方法

2024 年度の卒業生（以下、卒業生）は合計 941 名であった。そのうち、送達不能が 16 件で、計 925 名（前回 988 名）が今回の調査対象であった。本学同窓会から住所の提供を受け、アンケート依頼を郵送し、Google Forms を使用して、オンラインにて回答いただいた。質問項目は巻末の資料 1 の通りである。

1-2 実施日

2025 年 12 月 1 日（月）～2026 年 1 月 4 日（日）

2. 実施結果

2-1 回収率

アンケートの回答数は 134 件で、回収率は 14.49%であった。前回（14.37%）と比較するとやや増加した。

2-2 卒業時の状況と現在の状況（表 1-1）

卒業時の状況で、就職と回答した者は 128 名（95.52%）、進学と回答した者は 4 名（2.99%）、その他と回答した者は 2 名（1.49%）であった。卒業時に就職していた者のうち、「最初の就職先を変更せずに勤務」が 123 名（91.79%）と最も多く、「就職先を変更して勤務」は 4 名（2.99%）で、全体のうち現在就業している者は合計 127 名（94.78%）であった。また、「改めて教育を受けている」は 1 名（0.75%）、「現在は仕事に就いてない」が 0 名（0.00%）であった。

2-3 現在の勤務先の業種（表 1-2）

医療機関 93 名（73.23%、前回 69.85%）、福祉施設 15 名（11.81%、前回 12.50%）、一般企業（医療福祉系）4 名（3.15%、前回 1.47%）、一般企業 6 名（4.72%、前回 7.35%）、その他 6 名（4.72%、前回 5.15%）であった。

2-4 本学教育への満足度（表 1-3・4）

本学教育への満足度は平均 4.14（前回 4.11）だった。卒業学科別に見ると、4.5 以上の高評価を得たのは、医療福祉デザイン学科（5.00）、理学療法学科（4.69）、健康体育学科（4.50）であった。3.5 未満の低評価の学科はなかった。勤務先別にみると、4.5 以上の高評価を得たのは、一般企業（4.67）であった。唯一、一般企業（医療福祉系）のみが 3.75 と 4.0 を下回っていた。

2-5 本学のディプロマ・ポリシーの達成度（表 1-3・4）

本学の 4 つのディプロマ・ポリシーの達成度について、5 段階で評価してもらった結果、以下のとおりであった。

- ・ Q4-①「幅広い教養、豊かな感性、人間理解、並びに国際的コミュニケーション能力を身につけるとともに、一人の人間として、他者と関わるための豊かな心を持ち、福祉社会の担い手と成り得るための体力を身につける。」

平均 3.98（前回 3.96）であった。

- ・ Q4-②「豊かな人格形成の基本と専門領域へつながる基礎的な学力を養うとともに、専門領域を超えて問題を探求する姿勢を身につける。」

平均 3.96（前回 3.96）であった。

- ・ Q4-③「医療福祉という総合的な視点を持ち、学際的に議論する力の修得を通して、物事の本質を見抜き、医療と福祉の両分野における多様な課題を解決し得る判断力を養う。」

平均 3.75（前回 3.73）であった。

- ・ Q4-④「4 年間にわたる体系的な学習を通して、専門的な医療福祉人に必要な高いレベルの専門的学力や技術力、さらには、スペシャリストとしての指導力を身につける。」

平均 3.66（前回 3.65）であった。

卒業学科別にディプロマ・ポリシー別に分析したところ、4.5 以上の高い評価を得た項目は、健康体育学科（①、②、③、④）と医療福祉デザイン学科（③、④）、作業療法学科（①）であった。また、3.0 未満の低い評価を得た項目は、臨床心理学科（④）、言語聴覚療法学科（③）、医療情報学科（①）であった。一方、勤務先別では、4.5 以上の高い評価、および、3.0 未満での低い評価がなかった。

2-6 本学学修の有用度（表 1-3・4）

本学学修の有用度は平均 4.25（前回 4.15）であった。卒業学科別に見ると、4.5 以上の高評価を得たのは、健康体育学科（5.00）、医療福祉デザイン学科（5.00）、視能療法学科（4.73）、作業療法学科（4.63）、理学療法学科（4.54）であった。3.0 未満の低評価の学科はなかった。

また、勤務先別でみると、全ての勤務先が 4.0 以上であった。

3. 自由記述

現在の業務をおこなう上で役に立っている授業や、学生のうちに学んでおくべき内容に関する記述が多かった。自由記述をまとめたものについては、別途保管する。

4. まとめ

アンケート回収率は昨年比約 0.1% 向上したが、目標である 20% には達しておらず、引き続き回収率の改善を図る必要がある。全体として、本学教育の満足度、ディプロマ・ポリシーの達成度、学修の有用度はいずれも昨年とほぼ同等であった。一方で、これらの指標について学科間の差が拡大しており、本学の課題として残されている。特にディプロマ・ポリシーの達成度は、満足度や有用度と比較して相対的に低く、早急な対応が求められる。また、勤務先別の分析では、医療機関・福祉施設・一般企業は概ね高い値を示した一方で、一般企業（医療福祉系）では全般的に低い傾向がみられた。今後も継続的に注視していく必要がある。

表 1

1. 卒業時の状況と現在の状況

	a 就職	a 継続	b 変更	c 就学	d 無職	b 進学	c その他	合計
a 福祉	7	7	0	0	0	0	0	7
b 心理	7	6	1	0	0	2	0	9
d 子ども	9	9	0	0	0	0	0	9
e 看護	13	13	0	0	0	0	0	13
f 理学	12	11	1	0	0	1	0	13
g 作業	8	8	0	0	0	0	0	8
h 言語	7	7	0	0	0	0	0	7
i 視能	11	10	1	0	0	0	0	11
j 臨検	8	8	0	0	0	0	1	9
k 放射	11	10	0	1	0	0	0	11
l 臨工	6	6	0	0	0	0	0	6
m 栄養	9	9	0	0	0	0	0	9
n 健体	3	3	0	0	0	1	0	4
q 経営	3	3	0	0	0	0	0	3
r 情報	6	6	0	0	0	0	1	7
s 秘書	6	6	0	0	0	0	0	6
t デザ	2	1	1	0	0	0	0	2
総計	128	123	4	1	0	4	2	134
割合	95.52%	91.79%	2.99%	0.75%	0.00%	2.99%	1.49%	100.00%

2. 現在の勤務先の業種

	医療機関	福祉施設	一般企業 (医療福祉系)	一般企業	その他	未回答	合計
a 福祉	2	4	0	0	1	0	7
b 心理	1	3	1	2	1	0	8
d 子ども	0	6	0	0	1	2	9
e 看護	11	0	0	0	1	0	12
f 理学	12	0	0	0	0	0	12
g 作業	8	0	0	0	0	0	8
h 言語	6	1	0	0	0	0	7
i 視能	10	0	1	0	0	0	11
j 臨検	6	0	1	0	0	1	8
k 放射	10	0	0	0	0	0	10
l 臨工	6	0	0	0	0	0	6
m 栄養	6	2	1	0	0	0	9
n 健体	0	0	0	1	2	0	3
q 経営	2	0	0	1	0	0	3
r 情報	5	0	0	1	0	0	6
s 秘書	6	0	0	0	0	0	6
t デザ	1	0	0	1	0	0	2
総計	92	16	4	6	6	3	127
割合	72.44%	12.60%	3.15%	4.72%	4.72%	2.36%	100.00%

3. 学科別の満足度・DP 達成度、有用度

	人数	満足度	DP				有用度
			①	②	③	④	
a 福祉	7	3.71	3.71	4.29	4.14	4.00	4.29
b 心理	9	4.33	3.56	3.67	3.11	2.78	3.89
d 子ども	9	4.22	4.22	4.11	3.67	3.78	4.44
e 看護	13	4.15	4.15	4.15	4.15	4.08	4.31
f 理学	13	4.69	4.38	4.23	4.00	3.92	4.54
g 作業	8	4.25	4.50	4.13	3.63	3.38	4.63
h 言語	7	3.43	4.00	3.14	2.86	3.00	3.57
i 視能	11	4.45	4.09	4.27	4.27	4.09	4.73
j 臨検	9	4.33	3.33	3.67	3.33	3.11	4.22
k 放射	11	3.91	4.09	3.91	3.91	3.73	4.09
l 臨工	6	3.67	4.33	3.83	4.00	3.67	4.17
m 栄養	9	3.56	3.78	3.56	3.56	3.67	3.78
n 健体	4	4.50	5.00	5.00	4.50	4.75	5.00
q 経営	3	4.33	4.33	4.00	3.67	3.67	4.33
r 情報	7	4.00	2.86	3.57	3.00	3.29	3.86
s 秘書	6	4.17	3.67	3.83	3.67	3.33	4.00
t デザ	2	5.00	3.50	4.00	5.00	5.00	5.00
総計	134	4.14	3.98	3.96	3.75	3.66	4.25

4. 勤務先別の満足度・DP 達成度、有用度

	人数	満足度	DP				有用度
			①	②	③	④	
a 医療機関	93	4.11	3.96	3.87	3.75	3.66	4.25
b 福祉施設	15	4.07	4.20	4.20	3.93	4.00	4.27
c 一般企業（医療福祉系）	4	3.75	4.00	4.00	4.00	3.50	4.00
d 一般企業	6	4.67	3.50	4.17	3.33	3.00	4.33
e その他	6	4.33	4.17	4.33	3.67	4.00	4.33
総計	124	4.13	3.98	3.95	3.76	3.68	4.25

2025年度 既卒生(2024年度卒業生)アンケート質問項目一覧

Q1【あなたの卒業学科】

医療福祉学部

a 医療福祉学科

b 臨床心理学科

c 保健看護学科

d 子ども医療福祉学科

保健看護学部

e 保健看護学科

リハビリテーション学部

f 理学療法学科

g 作業療法学科

h 言語聴覚療法学科

i 視能療法学科

医療技術学部

j 臨床検査学科

k 診療放射線技術学科

l 臨床工学科

m 臨床栄養学科

n 健康体育学科

o 感覚矯正学科

p リハビリテーション学科

医療福祉マネジメント学部

q 医療福祉経営学科

r 医療情報学科

s 医療秘書学科

t 医療福祉デザイン学科

Q2【現在の状況】

(1)卒業時の状況は以下のどれに該当しますか。

a 就職

b 進学

c その他

(2)(1)の質問でa就職を選択した方に伺います。以下のどれに該当しますか。

a 最初の就職先を変更せずに勤務

b 就職先を変更して勤務

c 改めて教育を受けている

d 現在は仕事に就いていない

(3)(2)の質問でa最初の就職先を変更せずに勤務、b就職先を変更して勤務を選択した方に伺います。現在お勤めの施設・企業の業種は以下のどれに該当しますか。

a 医療機関

b 福祉施設

c 一般企業(医療福祉系)

d 一般企業

e その他

Q3【本学で受けた教育について、全体としてどの程度満足していますか。】

a 大変満足

b まずまず満足

c どちらでもない

d やや不満足

e 大変不満足

Q4【本学が養成しようとする人材像は以下のとおりですが、身につけた能力をどのくらい職場で発揮できていますか。】

①「幅広い教養、豊かな感性、人間理解、並びに国際的コミュニケーション能力を身につけるとともに、一人の人間として、他者と関わるための豊かな心を持ち、福祉社会の担い手と成り得るための体力を身につける。」

a 十分発揮できている

b やや発揮できている

c どちらでもない

d あまり発揮できていない

e 全く発揮できていない

②「豊かな人格形成の基本と専門領域へつながる基礎的な学力を養うとともに、専門領域を超えて問題を探究する姿勢を身につける。」

a 十分発揮できている

b やや発揮できている

c どちらでもない

d あまり発揮できていない

e 全く発揮できていない

③「医療福祉という総合的な視点を持ち、学際的に議論する力の修得を通して、物事の本質を見抜き、医療と福祉の両分野における多様な課題を解決し得る判断力を養う。」

a 十分発揮できている

b やや発揮できている

c どちらでもない

d あまり発揮できていない

e 全く発揮できていない

④「4年間にわたる体系的な学習を通して、専門的な医療福祉人に必要な高いレベルの専門的学力や技術力、さらには、スペシャリストとしての指導力を身につける。」

a 十分発揮できている

b やや発揮できている

c どちらでもない

d あまり発揮できていない

e 全く発揮できていない

Q5【本学での学修は、総合的に評価して職場で役に立っていますか。】

a 十分役に立っている

b どちらかというと役に立っている

c どちらでもない

d あまり役に立っていない

e 全く役に立っていない

Q6【本学の教育に関するご意見や在学生に対するメッセージ(身につけておくべき知識や技術、役に立った科目)などがございましたら、ご自由にお書きください。】


<https://forms.gle/NGMC4kLurF17yUUUn8>

回答締切：2026年1月4日(日)